

医師会臨床検査センターだより

No.2018-01
2018年9月18日



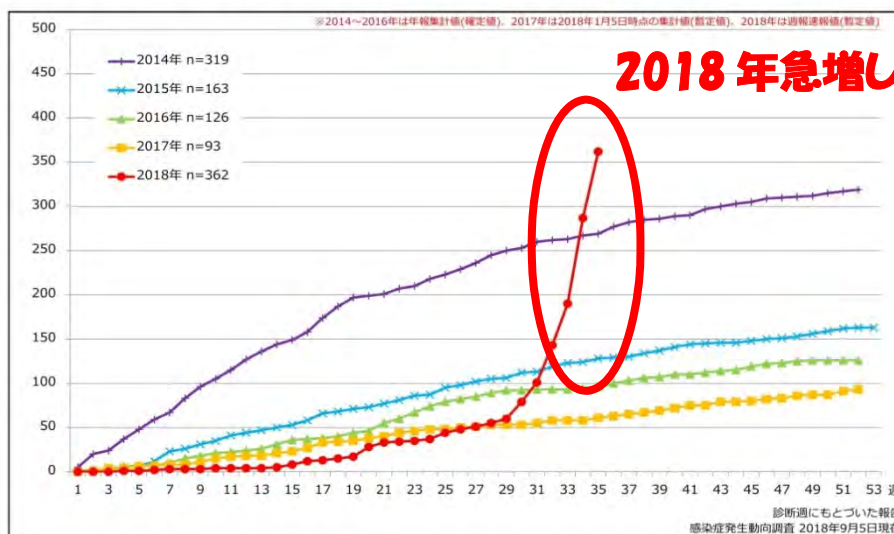
風疹急増に関する緊急情報

国立感染症研究所は2018年度の風疹患者数が362人(9月2日現在)で昨年の4倍近くに達していると発表しました。主に首都圏を中心に国内流行が発生し始めていると考えられ、福岡県における発生状況は10人(9月2日現在)と少数ですが、今後感染の拡大が懸念されるため注意を呼びかけています。

風疹は免疫のない妊婦が妊娠初期に感染すると胎児に先天性風疹症候群(CRS)という重篤な障害を引き起こします。風疹ウイルスは感染力が強いので、先天性風疹症候群の発生を防ぐには妊婦への感染を防止することが重要であり、将来妊娠を希望する女性はもちろん、パートナーや家族、職場などが一緒になって風疹対策をする必要があります。

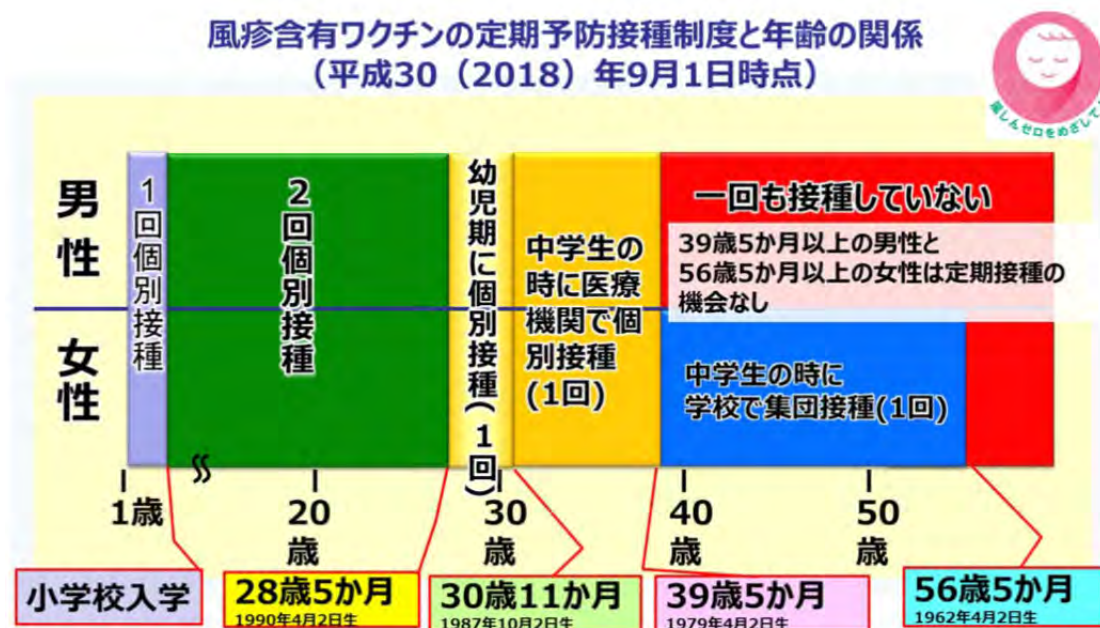
追補. 風しん累積報告数の推移 2014~2018年(第1~35週)

Cumulative rubella cases by week, 2014-2018 (week 1-35) (based on diagnosed week as of September 5, 2018)



- ・風疹が流行した際、感染した本人が気づかずに周りにうつしてしまうことがあります！(風疹の感染力はインフルエンザの2~4倍とされています。)
- ・海外で感染して帰国後発症する輸入例が発見されています！
- ・治療法がない先天性風疹症候群、予防には7クチン接種が最も重要です！
風疹は一度自然に感染すると生涯続く免疫が体内で作られるため、その後風疹にかかることはありません。この免疫は風疹7クチンを接種することでも作られます。

風疹のワクチン接種状況は生まれた年によって異なり、30～50 代の男性は風疹の抗体価が低い方が 2 割程度存在すると言われています。過去に風疹にかかったことがあると考えている人のなかには、実際にかかったのは麻疹などの別の病気だったということもあります。また、感染しても症状が出ない場合が 15～30%程度あると言われおり、自分の抗体価を正しく知ることが重要です。風疹にかかったかどうかや、ワクチンを受けたことがあるか曖昧な場合は、まず風疹抗体検査で抗体価をご確認いただきますようよろしくお願いします。



参考文献 : 国立感染症研究所ホームページ
厚生労働省ホームページ

当検査センターで受託している風疹検査

項目コード	検査項目	検体量	報告	実施料	検査方法
4022	風疹	血清(0.2mL)	4～6 日	79(免疫)	HI
	※ HI 抗体の8倍未満ないし8倍の場合、ワクチン摂取の対象者と考えられます。				
4157	風疹 IgG	血清(0.2mL)	3～5 日	219(免疫)	EIA
	※ (-)、(±)もしくは 5.0(+)～8.0(+)より低値の抗体価はワクチン摂取の対象者と考えられます。				
4158	風疹 IgM	血清(0.2mL)	3～5 日	219(免疫)	EIA

※詳細は検査のてびき 142 頁をご参照ください。



一般社団法人福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1 丁目 6 番 9 号

TEL 092-852-1506 (代) FAX 092-852-1510